

# 寄居町の今とこれから 一般質問

12月定例会の一般質問には、8名の議員が登壇しました。

質問項目と内容(抜粋)をお知らせします。

この項目について町の考えを聞きました

## 町の考え・まちづくり

- ・町民意識調査結果と町民ニーズ(大平議員)
- ・人口減少対策と地方創生(大平議員) → P.11
- ・町民体育祭の開催(佐藤議員)
- ・小規模企業振興基本法を生かしたまちづくり(田母神議員)
- ・人口減少・少子化対策(峯岸議員) → P.13
- ・ビッグデータの活用と自治体のオープンデータ推進(鈴木議員) → P.13

## 環境・防災

- ・役場敷地内のEV車充電システム(神田議員)
- ・防災対策の取り組み(佐藤議員) → P.11
- ・ごみの減量化による焼却施設の長寿命化(田母神議員)
- ・寄居町の常備消防(瀧澤議員) → P.12
- ・大雪被害の復興状況と今後の対策(岡本議員) → P.14

## 住民サービス

- ・用土グラウンドの活用方法(岡本議員)
- ・公共施設トイレの洋式化(岡本議員)

## 福祉・医療

- ・紙おむつ支給事業(瀧澤議員)
- ・障害者控除、特別障害者控除(田母神議員) → P.12

## 教育・子ども

- ・児童虐待防止と母と子を守る取り組み(鈴木議員)
- ・セカンドブック事業(鈴木議員)

## 町の観光・PR・農業

- ・町が補助金を交付している祭りやイベントの見直し(神田議員) → P.10
- ・農業の6次産業化政策等(大平議員)
- ・北條まつり(瀧澤議員)

※1人1項目を要約して掲載。全文は会議録をごらんください。会議録は印刷でき次第、町立図書館で読むことができます。



「地域密着型」訓練を



子育てしやすい環境に



寄居町指定重要文化財「茅町諫鼓鶏山車」(左)

次のページは「町の常備消防・介護保険改定・少子化対策・オープンデータ」に関する一般質問

## 大規模災害時の対応のためBCP策定を



答弁⇒ 策定については、今後検討していきたいと考えます

**問** 大規模な自然災害発生時には、庁舎自体の被災も想定されます。こうした中において、職員は迅速かつ確かな災害対応とともに、行政サービス等の通常業務の継続実施や早期再開が求められます。そこで、業務継続計画(BCP)策定の必要性について伺います。

**答** 大規模災害時においても、行政機能や行政活動を継続するための対応方針や手段等を定める業務継続計画は必要であると認識しています。

**問** 今後、BCP策定の考えはあるか伺います。

**答** 地域防災計画との整合性を図りながら策定については検討します。

## 「地域密着型」訓練やHUGの導入は

**問** 避難所における「地域密着型」訓練の実施について伺います。

**答** 1人1人の防災意識を平素からいかに高めていくかが、大きな課題と考えています。現在、町では総合防災訓練等を実施していますが、今後「地域密着型」訓練については、関係機関・団体の意見等を踏まえて、実施の可否について検討していきたいと考えます。

**問** 避難所運営ゲーム(HUG)の導入について伺います。

**答** HUGの導入については、その有効性について研究していきます。

**問** 災害時における公共施設や避難所等への窓ガラス飛散防止フィルム導入について伺います。

**答** 今後、公共施設や避難所等の利用特性や安全対策を総合的に考えていく中で、その必要性についても検討していきます。

☑BCP(Business Continuity Plan)…災害や事故など通常業務の遂行が困難な事態が起きた場合に、事業の継続や早期に再開するための取り組みを定めた基本的な計画。

☑HUG(Hinanzo 避難所・Unei 運営・Game ゲーム)…年齢や性別、抱える事情が異なる人が殺到する避難所。その運営について模擬体験をととして考えるために考案されたゲーム。

## 人口減少対策と地方創生の考えは



答弁⇒ 子育ての環境づくりを目指します

**問** 人口減少社会到来で「2040年までに896の市町村が消滅する可能性がある」と発表されました。「消滅市町村」と地方創生をどのように受けとめているのか伺います。

**答** 「消滅市町村」とは、2040年までに20歳から39歳の女性が半減する自治体をいい、町にとって大変厳しい数字ですが、厳粛に受けとめべきと認識しています。地方創生については、今後の国の動向を注視していきたいと考えています。

**問** 新聞の記事に「地方が寂れていく、過疎、シャッター通り、買い物難民、限界集落、ついには地方消滅だ」とあります。国が主導する地方対策の限界が見え、現場から活路を開くしかない現実があります。「地方創生」と「自治体の使いやすい交付金」をどのように考えますか。

**答** 11月に地方創生関連2法案が成立しました。現段階で具体策は示されていないので、今後の動向に注視しながら考えていきます。

## 子育てしやすい地域に必要なものは

**問** 子どもを産み育てやすい地域には何が必要か、若い世代の働く場をどうつくるのか、都市と地方が交流を深めるには何をすべきか伺います。

**答** 子育て施策の基本は「安心して出産・育児ができる環境づくり」と考えています。「子育てするなら寄居町」の環境づくりを目指し、就労の場を提供する企業誘致の推進も図ります。都市では団塊の世代の退職等を受けてUJターン等、都市から地方への移住交流の機運も考慮しながら、交流のあり方を調査研究していきたいと考えています。

## 町のお祭りやイベント今後の対応や方向性は



答弁⇒ 関係者と検討、意見交換をしていきます

**問** 古くから継承されている寄居町の伝統芸能や山車・おみこしなどを、新たに町の文化財などに指定する考えはないのか伺います。

**答** 寄居町文化財保護条例に基づき、詳細な調査を行った上で、歴史的価値等のあるものは必要な手続を経た後に指定していきます。

**問** 水天宮祭や北條まつりの開催時には、トイレの少なさを言われますが、今後の対応は。また、新たに観光トイレを設置する考えがあるか伺います。

**答** 来年度の開催に向けて、今後関係者と十分検討していきます。また、新たな観光トイレ整備は、現時点では考えていません。

## 市街地の電線の高さを変える考えは

**問** 宗像神社秋季例大祭で、山車の運行の障害になる電線について、現在行われている市街地の歩道バリアフリー化とあわせて電線の高さを変える考えについて伺います。

**答** 電線については、一定の基準以上の高さ確保して設置されており、さらに高さの変更をする場合には、費用の負担が必要となります。東京電力等と協議し、よりよい対応ができるようにしたいと考えています。

**問** 一例ですが、「北條まつり」の名称を「鉢形城祭」に戻し、町内各地の伝統芸能や祭りを一堂に会すなど、集約と集中により費用の削減と相乗効果につながるとは思います。考えを伺います。

**答** 町補助金のある祭りなどは、開催時期が異なることも多く、今後各関係者との意見交換等をしていきたいと考えています。

町のお祭り